

自動車部品の輸入検査に係るエジプト政府と日本企業とのワークショップ開催 (エジプト)

実施日： 令和6年3月～4月

在エジプト大使館

主催(共催)：在エジプト大使館、輸出入管理庁 (General Organization for Export and Import Control, GOEIC)

関連企業：日本企業(輸出業者、メーカー)、エジプト企業(販売代理店)

【背景】

- 自動車用ベルトをエジプトに輸入するためには輸出入管理庁 (GOEIC) が実施するオゾン検査に合格する必要がある。日本企業はこれまで数十年に渡って問題なくベルトをエジプトに輸入していたにもかかわらず、昨年(令和5年)からこの検査に合格しないケースが増え、エジプトへのベルトの輸入に支障を来していた。

【在外公館の対応】

- オゾン検査の検査プロセスや検査不合格となった理由を明確にすべく、当館経済参事官とGOEIC長官との協議を実施した。
- 協議の結果、日本企業とGOEIC職員との間でワークショップを開催し、検査に係る詳細情報を説明しつつ技術的な議論を行うこととなった。

【結果】

- GOEICから計11名参加の上、日本企業(輸出業者、メーカー)、エジプト企業(販売代理店)、ジェトロカイロ事務所長を交えたハイブリッド形式のワークショップを開催。専門家同士でのみ可能な技術的・専門的な議論を実施した。
- 日本企業から大使館の支援に謝意が表明された。